

介護保険において在宅で受けられるサービスは、本人・家族ができる限り自立した生活を送ることが目的であり、訪問リハビリはその一つです。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が自宅を訪問し、利用者の体の機能の維持・回復を図りながら自立支援に向けたリハビリを行います。

「高齢になっても、障がいを抱えても、「その人らしく」健やかに生活することは日々を笑顔で暮らすための重要なポイントです。それでは、「その人らしい」生活とはどのようなものでしょうか？皆さんにも日常生活を送る上で大事にしているものがきくとあるかと思いますが、私が担当している利用者さんのリハビリ目標をいくつか紹介します。

「近鉄電車に乗って鳥羽に旅行に行きたい」、「まきを振る舞いたい」、「バス停まで孫の迎えに行けるようになるたい」、「普段は車椅子生活だけど子どもの卒業式に歩いて参列したい」。

どの目標も、その人が積み重ねてきた独自の価値観に基づいた素敵な目標です。訪問リハビリでは目標や取り組み内容を相談しながら進めました。まずは体力など体の機能が改善するようにご自宅でできる運動を指導し、日々取り組んで頂くことから始めました。運動と合わせてトイレや着替えなどの身の回り動作や歩く練習を行い、ご家族と一緒に課題に取り組み、「その人らしい」生活を再獲得していく様子と共にできることは私たちのこの上ない喜びです。どんな時でも笑顔で暮らすことが出来るよう、私たちは支援させていただきます。

知って得 医療・介護



藤田医科大学七栗記念病院 訪問事業部 堀 和朗

21 笑顔をあきらめないための訪問リハビリ

「バス停まで孫の迎えに行けるようになるたい」、「普段は車椅子生活だけど子どもの卒業式に歩いて参列したい」。

どの目標も、その人が積み重ねてきた独自の価値観に基づいた素敵な目標です。訪問リハビリでは目標や取り組み内容を相談しながら進めました。まずは体力など体の機能が改善するようにご自宅でできる運動を指導し、日々取り組んで頂くことから始めました。運動と合わせてトイレや着替えなどの身の回り動作や歩く練習を行い、ご家族と一緒に課題に取り組み、「その人らしい」生活を再獲得していく様子と共にできることは私たちのこの上ない喜びです。どんな時でも笑顔で暮らすことが出来るよう、私たちは支援させていただきます。